

(参考様式第1-2号)生産記録

(緑肥の作付け(カバー作物、リビングマルチ、草生栽培)の取組)

※リビングマルチの場合は、該当する作物名の口、■または✓を入れること。

小麦、大麦、イタリアンライグラス

小麦、大麦、イタリアンライグラス以外

組織名	
氏名	

ほ場名	実施面積(a)	作物名(5割低減)	対象活動 (作物名)

1 緑肥の作付け

作業名	実施時期	播種量(kg/10a)	標準播種量(kg/10a) (注1)	備考
播種				
農地還元(すき込み)				
栽培期間(注2)				

(注1)標準播種量には、カタログや都道府県の栽培技術指針等で示されている播種量を記載すること(播種量は、標準播種量以上の播種を行う必要)。

(注2)播種から農地還元までの期間を記載すること。

2 5割低減の取組

(1)主な作業

作業名	実施時期	備考
播種		
定植		
収穫(終了日)		

(2)使用肥料

資材等の名称	化学肥料窒素成分の割合(%)	使用時期	使用量(kg/10a)	うち化学肥料窒素成分	慣行の5割低減の水準	備考
				(kgN/10a) (A)	(kgN/10a) (B)	
合計						

(注1)化学肥料窒素成分を含まない有機質肥料も含めて記入すること。

(注2)(A)の合計 ≤ (B)の値となっているか確認すること。

(3)使用農薬

農薬名 (剤型等、商品名)	使用時期	化学合成農薬成分回数 (C)	慣行の5割低減の水準	備考
			(成分回数) (D)	
合計				

(注1)フェロモン剤、生物農薬等カウントしない農薬も含めて記入すること。

(注2)(C)の合計 ≤ (D)の値となっているか確認すること。

3 保管書類

種子のカタログ等

種子の購入伝票等

主作物の出荷・販売伝票(10a未満の取組の場合)

(注)保管してある書類名の口、■または✓を入れること。